

事務事業名		故郷のふるさと情報発信事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	営業推進課
	政策	05	観光・交流の振興	係	観光交流係
	施策	01	観光の振興	内線電話	259・373
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	7款	商工費	計上	
	項	1項	商工費	実施期間	
	目	4目	国際・都市間交流費	平成27年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	市外の人	中野市の知名度向上及びイメージアップが図られる
現状・課題	IT時代に対応するため、SNSを活用した情報発信を実施し、中野市をPRする必要がある。	
市が行う理由及びその根拠	その他	来市者の増、地元製品の販売増
事務事業概要	SNSを活用した情報発信を行うための体制やシステムの整備を行う。	
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容	
	Facebookを活用した情報発信	活動量
	Instagramを活用した情報発信	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	103,204,000	89,604,000
補正・流用等			円		5,035,000	—
合計			円	103,204,000	94,639,000	181,144,000
決算（見込）額 A			円	75,294,664	94,639,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円		750,000	3,000,000
		市債	円			
		その他特定財源	円		85,965,000	171,200,000
	一般財源	円	75,294,664	7,924,000	6,944,000	
正規職員数		人	0.82	0.82	1.72	
人件費 B		円	5,275,880	5,282,440	11,080,240	
総事業費 A+B		円	80,570,544	99,921,440	192,224,240	
市民1人当たりコスト		円	1,883	2,349	4,535	

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
ふるさと寄附金の寄附件数		増加	目標	19,000	件	16,000	件	32,000	件
			成果	13,270	件	28,000	件	—	
空き家バンク登録件数		増加	目標	5	件	10	件	10	件
			成果	2	件	10	件	—	
成果指標と目標値を設定した理由	中野市を知ってもらい、イメージアップにも繋がるため（寄附金）、また移住希望者の定住に繋がるため（空き家バンク）								

令和2年度の実施方針	重点的に実施	活動量	増やす	コスト	維持する	成果	上げる
	中野市への認知度アップ及び、活性化のため、寄附件数の増加に努める。中野市への移住を促進させるために空き家バンクの登録件数の増加に努める。						

